

局長級人事異動 知事コメント

(令和5年6月23日)

- 1 今夏の局長級人事は、ポストコロナを迎えた今、首都・東京が持続的に発展し、「サステナブル・リカバリー」へと突き進むため、実力本位の配置を行った。なお、福祉保健局について、高度化、複雑化する課題に対して、高い専門性と機動性を発揮できる組織に変革するため、福祉局と保健医療局へ再編を実施する。
- 2 持続可能な福祉サービスの実現に向け、子供・子育て支援や高齢者・障害者施策等を担う福祉局長には、これまでも高い実行力で都政課題の解決に邁進してきた佐藤福祉保健局長を配置する。
- 3 都民の命や健康を守るため、保健・医療政策、感染症対策等を推進する保健医療局長には、調整力に優れ、コロナ禍の困難な局面で大きな成果を挙げた雲田健康危機管理担当局長を配置する。
- 4 福祉局次長には小林福祉保健局理事、保健医療局次長には谷田福祉保健局次長を配置し、両局に設置する理事職を相互に兼務することで、これまで培った福祉・保健・医療の連携を継承する。
- 5 GovTech 東京の円滑な設立に向け新設するデジタルサービス局理事に高野福祉保健局総務部長を昇格させ、環境政策を一層推進するため、環境局理事に東京都環境公社の高崎理事長を登用する。
- 6 その他、局長を支える技監・理事職等については、局の課題を踏まえつつ、能力・実績を重視した配置を行った。
- 7 今回の新任発令は、7月1日付で実施する。